

|            |  |
|------------|--|
|            | 鹿児島大学 保健系分野（看護学・医療技術学、学際・特定）   |
| 学部・研究科名    | <p>医学部保健学科</p> <p>看護学専攻（第1年次：80名、第3年次：10名）</p> <p>理学療法学専攻（第1年次：20名、第3年次：5名）</p> <p>作業療法学専攻（第1年次：20名、第3年次：5名）</p> <p>保健学研究科（M：22名、D：6名）</p>   |
| 沿革・設置目的    | <p>鹿児島大学医学部附属看護学校、附属助産婦学校、附属保健婦学校を経て鹿児島大学医療技術短期大学部が設置された後、平成10年、看護学、理学療法学及び作業療法学に関する教育・研究を行うことを目的とした医学部保健学科として設置された。</p> <p>昭和24年（1949年） 鹿児島大学設置</p> <p>昭和33年（1958年） 医学部附属看護学校、附属助産婦学校設置</p> <p>昭和36年（1961年） 医学部附属保健婦学校設置</p> <p>昭和60年（1985年） 鹿児島大学医療技術短期大学部設置</p> <p>平成10年（1998年） <u>医学部保健学科設置</u></p> <p>平成15年（2003年） 大学院保健学研究科保健学専攻（博士課程前期）設置（平成17年（2005年）に博士課程後期を設置）</p> <p>平成16年（2004年） 国立大学法人に移行</p> |
| 強みや特色などの役割 | <p>○ 大学憲章等に基づき、自主自律と進取の精神をもって、グローバルな視野をもち、離島・へき地を含めた地域医療の発展に寄与できる人材を育成する。また、大学院研究科において、指導的立場で活躍できる高度専門職業人の育成、教育者・研究者となり得る医療者を育成する。そしてこれらの教育・研究の成果を国内外に提供し、社会に貢献する。</p> <p>○ 鹿児島大学の各学部にまたがる地域づくりへの理論的実践的知見を生かし、医学科と連携しながら島嶼看護についての教育研究や地域貢献を推進するとともに、超高齢社会を支える地域包括ケアシステムの構築、ケア提供者全体の質の向上への取組を進め、今後の社会的・地域的課題への対応に貢献する。</p>  |

- 鹿児島県は超高齢化先進県であり、脳血管疾患、運動器疾患、認知症などの精神障害を対象としたリハビリテーションに対する地域ニーズが高いことを踏まえ、鹿児島大学医学部・歯学部附属病院が有する霧島リハビリテーションセンターと連携しながら、理学療法学・作業療法学についての教育研究を推進するとともに、地域の現職者の資質向上に寄与する。